

学校法人佐久学園



佐久の薫風

No.18

2023(令和5)年5月31日発行

発行 学校法人佐久学園

編集 佐久大学広報委員会

印刷 株式会社アオヤギ印刷

<https://www.saku.ac.jp/>

CONTENTS

- 特集 学生総合支援センターの開設にあたって……2
- 学長メッセージ 入学に寄せて……2
- 基盤教育センター開設等……3
- 2022年度 卒業式・修了式……4
- 退職者紹介……4
- 新任者紹介……5
- シリーズ・研究室探訪〈4〉……5
- 社会連携・研究支援センター……6
- 2022年度 国家試験合格状況……6
- キャンパストピックス……7
- 2022年度 進路一覧……7
- 佐久大学から……8



特集 学生総合支援センターの開設にあたって

本学は今、学生生活の充実及び発展、学修者主体の学修の場の実現に向けて、教員と職員の協働を推進しています。そうした学生支援のための協働体制を目指す組織開発の実際として、2023年4月より旧学生課と教務課を母体に「学生総合支援センター」を開設しました。

本学学生の多くは20歳前後です。この時期に学生時代を過ごせる立場としてとくに、確かな情報を求め、多くの人格と

出会い、人生の経営としての自覚と行動力が高まっていく実感を得てほしいと願っています。そのような期待の実現に向けて、本センターの開設に先立ち、センター職員予定者を対象に、学生支援の原理と基本、窓口カウンターでの実際等を確認する研修として「インテーク講座（人間福祉学部脇山園恵講師担当）」をシリーズで開催しました。これまでの学生観、支援者としての自己の在り方等をふりかえる仕切り直しの機会でもありました。

本センターの利用範囲は広く、従来の業務とともに、日々の心配ごと・困りごとからキャリア開発（進路選択、就職活動）まで、ワンストップで対応できる体制を整えました（図1）。各種の申請や届け出の際にも、「おはようございます」「最近どうですか…」「どうなりました?」「どこまですすんでいますか?」等と、職員からも前向きに進んで声掛けします。相談や支援の内容が他に漏れることは一切ありません。言葉がけ、会話練習の機会にもなりますし、気軽にセンターを活用してください。

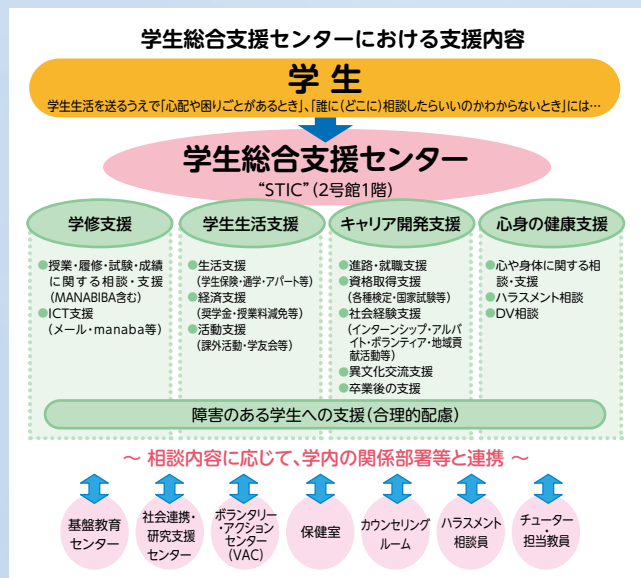


図1



カウンターを低くし、その場で気軽に手短かに相談できるようにしました



センターの職員・教員です

学長メッセージ

入学に寄せて



佐久大学
佐久大学信州短期大学部

学長 堀内ふき

今年は、全国的に花の便りが早く届き、佐久大学も満開の桜の下で入学式を迎えました。新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

佐久学園には、佐久大学信州短期大学部、看護学部、人間福祉学部があります。加えて、看護学部には大学院の看護学研究科と助産学専攻科があり、どちらも、学部卒業後のキャリアアップとして、修士（看護学）や助産師を目指す道に続きます。大学院にはまた、プライマリケア看護コースがあり、修了後は診療看護師（ナースプラクティショナー）の道への受験資格も得ることができ、看護の役割拡大につながっています。

短期大学部は、この3月に初めて保育士の課程を終えた卒業生を出し、保育園や障がい児施設等に就職してくれています。

基盤教育センター開設しました

～ケアの専門職を支える人間力の向上をめざして～

現代社会は、産業構造が複雑化し、不確実性や曖昧性、不安定さが増す“BUCAの時代”とも呼ばれています。その中で、生きる人々に関わる「ヒューマンケアの実践者」の人間力を育成するため、この4月に『佐久大学基盤教育センター』を立ち上げました。本センターでは、「大卒者の学問的教養」と「社会人としての基礎力」、そして専門分野に進むための「専門科目の基礎」という三つの方針を掲げて、初年次のみならず、在学するすべての期間において学びの環境を提供していきたいと考えています。

大学で学ぶ教養は、人文学や社会科学、自然科学など多くの分野から成り、物事の本質を幅広く知る手がかりになります。また、社会で重視されている汎用性能力は、コミュニケーションやリーダーシップ、チームワーク力などと言われますが、その獲得には、他者から学ぶだけでなく、自分自身を省察しながら倫理的判断や批判的思考を育むことが大切になります。つまり、在学中の学修は、専門知識の習得のみならず、しなやかに生きる「人間力を培う」ことが求められているのです。例えば、地域に出て多くの方と

出会い、互いに学び合うことで、現代の生き残りベラツアーツを体現することもその一つです。

このような基盤教育は、ケアの専門知識やスキルを習得するための基礎でもあります。そのため、時には学んだことを転用する知恵も必要となるでしょう。最近では、基盤教育と専門教育を分けて考えるのではなく、文理融合という言葉に代される総合的な学びとして捉え直されています。基盤教育と専門教育は、互いにつながり重なりあって行われることで、多角的にそして柔軟な思考力、そして行動力を身につけることができると期待しています。今後も、基盤教育センターでは、学生が社会に出てからも役立つ学びの礎として、多様な科目や独自プログラムを展開していく予定です。(文：中嶋智子)

基盤教育センターは、社会連携・研究支援センター、学生総合支援センターに次いで、本学3つ目のセンターです。専任の教職員はいませんが、センター長、副センター長、看護学部、人間福祉学部、短期大学部の教員、学生総合支援センター職員等計9人で出立しています。



ボランティア・アクションセンターが開設します

今年度前期開設予定の「佐久大学ボランティア・アクションセンター (VAC)」に専任スタッフとして着任した鈴木さんをご紹介します。これからVACの窓口として、大学の教職員や地域の方々と連携し、学生が主体的に社会貢献活動を行っていくために必要なサポートを担って頂くことになります。どうぞよろしくお願いいたします。



コーディネーター

鈴木 祥子

「ボランティア・アクションセンター」コーディネーターの鈴木祥子です。桃や喜多方ラーメンが美味しい福島県の出身です。佐久市に越してきて23年、ふたりの子どもは東京と兵庫にいますので、佐久では主人とふたり、美しい浅間山を眺めながら暮らしています。

大学3年の娘が高校の時に、カンボジアで井戸を掘るボランティアをしていました。そして「カンボジアのために活動してきたけれど、結局は自分のためだった」と振り返りました。

「経験に勝る知識なし」という言葉がありますが、学生の皆さんにはボランティア活動を通して、多くの人と接し様々な経験を重ねて欲しいと思っています。成功経験も上手いかなかった経験も、どちらも貴重な経験です。今後の人生の糧となるように、大切にサポートしてまいります。そして、相手の立場に立って考え行動する力を身に付け、幅広い視野を持った人材へと成長して欲しいと考えております。

2021年4月に開設された人間福祉学部は、社会福祉士や精神保健福祉士の国家試験取得を目指すとともに、福祉の学びを活かして公務員・ビジネスなどの分野で活躍でき、福祉住環境コーディネーターや医師事務作業補助者などとして活躍できます。

このたび、3期生を迎え、先輩である3年次生はいよいよ本格的な専門教育課程が始まりました。

佐久大学はヒューマンケアの総合大学として、時代の要請に応えられる大学を目指しています。地方の保健医療福祉の総合大学であり、学生の時から多職種で働くことの必要性、総合的な視野が育つことを大事にしています。

そして、「ケア」は、相手への配慮、気遣い、思いやりといった言葉で示されますが、このことを大事にするということは、すなわち、学生とともに教職員もケアの心を大事にしている大学を目指すということです。そして、ひいては地域社会全体が、人々の健康な生活を目指すものであり、豊かな自然環境や人々との繋がりが癒しになり、様々な仕事や発展に繋がりと、幸せな生活が目指せると思っています。

広く世界に目を向け、楽しく学び、一生懸命遊び、たくさんの経験を積んで、地図にはない自らの道を歩み続けていってください。

2022年度 卒業式・修了式

2023年3月17日 卒業式・修了式を佐久平交流センターにて挙行了しました



この4年間は多くの学びや出会いがあり、看護の知識や技術を得るだけでなく、人としても大きく成長することができました。何度か壁にぶつかりましたが、その度に支えてもらった仲間や先生方、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。大学での学びと経験を大切に、次のステップでも精一杯頑張りたいです。



看護学部
永井 陽菜

大学院の生活は、様々な葛藤、時間調整、自分自身と向き合った2年間でした。家族や職場のスタッフ、先生方、そして同じ志を持って過ごした4名の仲間と共に頑張ってきたことが大きな支えとなり、大学院生活を乗り切りました。今、振り返ると感謝でいっぱいです。



大学院看護学研究科
山下 雅美

卒業生・修了生

学生生活を振り返って

私が入学した年は新型コロナウイルスが猛威を振るう中でしたが、短大生活は充実したものでなりました。これらは、先生方や地域の方、そして保護者の方の支えがなければここまで過ごすことは出来なかったと思います。感謝を忘れずにこれからも励んでいきます。



信州短期大学部
伊藤 亜衣

この1年間は、専門知識や技術の他、自分の強み・課題などを学び、濃密な時間でした。辛く厳しいこともありましたが、仲間や先生、家族、応援してくれる人達のおかげで頑張れました。感謝を忘れず、学びをいかして信頼される助産師として活躍したいです。



助産学専攻科
畑 まりな

日本NP教育大学院協議会
2022年度診療看護師(NP)資格認定試験

受験者数 5名

合格者 5名

合格率100%

退職者紹介 (2023年3月31日付)

■ 大学院・看護学部 教授 橋本 佳美
■ 看護学部 講師 川口 桂嗣

■ 看護学部 講師 藤井 千里
■ 助産学専攻科 講師 田中 由美子

佐久学園での教育にご尽力いただき、ありがとうございました

新任者紹介 (2023年4月1日付着任)

①担当領域 ②出身地 ③出身校 ④趣味 ⑤自己PR



看護学部 教授 荒井 春生

- ①精神看護学
- ②神奈川県横浜市
- ③高崎健康福祉大学大学院
- ④旅行
- ⑤統合失調症患者さんを対象に、がんの告知や治療方法の選択などについて様々な考え方ができる講義や研究をできれば嬉しく思います。長野県は空気が綺麗で、毎日浅間山を見ながら楽しく過ごしています。どうぞよろしくお願い致します。



看護学部 講師 征矢野 文恵

- ①地域看護学(公衆衛生看護学)領域
- ②佐久市
- ③佐久大学大学院
- ④ゴルフ、映画鑑賞
- ⑤佐久地域の保健・医療・福祉活動にどっぷり漬かってきました。活動の楽しさを伝えていきたいです。



看護学部 助手 辻 晃

- ①老年看護学領域
- ②栃木県
- ③東京医科歯科大学
- ④公園・博物館めぐり
- ⑤長野県に憧れ、佐久に移住をしてきて7年経ちました。一歩ずつみなさんと一緒に学びを深めていきたいです。



看護学部 助手 藤田 利恵子

- ①地域看護学(公衆衛生看護学)領域
- ②愛媛県
- ③呉大学看護学部看護学科
- ④音楽鑑賞・掃除
- ⑤長野県の空気や景色がとても素敵だと常々感じています。これから教育・研究の土台が築けるよう一歩一歩、歩んでいきたいと思っています。



人間福祉学部 特任教授 狩野 徹

- ①建築計画学、福祉のまちづくり
- ②神奈川県
- ③東京大学大学院
- ④まち歩き、風景写真
- ⑤住宅、建築、まちづくりの視点からヒューマンケアを考えます。これまで関わったプロジェクトの経験を活かして教育・研究をしています。



シリーズ・研究室探訪 4 大学教育における基盤教育の大切さを伝える

看護学部 大学院
看護学研究科 教授
朴 相俊

朴研究室では、看護学部と人間福祉学部が共通科目として受講する基盤教育を教えています。人生の個性 (individuality) よりも機能的存在としての価値が優先される現代社会で自分らしく生きるために必要な考えや感性を講義で伝えています。これらの教育は、人のケアや社会的貢献につながる力を形成し、共生社会を生きる上で重要な「合理的かつ客観的思考 (critical thinking)」や「メタ認知能力」を養うことになります。大学での学びを通して社会の様々な現象に「問いかける力」と「検証していくプロセス」を知ること、社会を広く理解する力の習得はとても重要です。また、朴研究室では大学院教育においても共通科目と地域看護学(公衆衛生看護領域)を担当し、修士学位論文を執筆するための看護研究法や看護情報管理などの研究に関わる教育を行っています。自分で問題設定をしてデータを集め、それを分析して仮説を検証していくための専門的知識、そのプロセスから根底にある共通の要因を探り出す専門職としての必須の考え方、それだけでなくこれからの人生に必要な科学的なものの考え方(科学リテラシー)を講義やゼミで伝えています。これらの教育支援によって、将来、学部を卒業し大学院を修了した一人ひとりが学習過程で習得した力を活かし、共存共生の世界において自分の人生はもちろん、社会や他者との人生に貢献できる共生社会のパイオニアになることを期待しています。



「生活習慣と健康」の授業風景

社会連携・研究支援センター

Topics
トピックス

社会連携部門

国際交流部門

研究研修部門

【研究研修部門】

ケア専門職の能力・スキルアップのためのリカレント講座 「高度な認知症ケアの知識と実践」修了式 (2023年3月)

令和3年度に長野県の補助事業として実施した、「ケア専門職者を対象に実施したリカレント講座」を、令和4年度は、佐久市内のケア専門職者を対象に講座を開講しました。令和4年12月から令和5年3月までの約3か月間、全20講座をオンデマンドで受講して頂きました。3月18日(土)には、修了式を行い受講した皆さんに修了証が渡されました。



【国際交流部門】

タイ ブラパ大学表敬訪問(2023年1月)

(独) 国際協力機構 (JICA) の「健康長寿」長野県佐久市の地域包括ケアを活かしたチョンブリ県サンスク町における多職種連携による高齢者ケアプロジェクトは、佐久市、佐久大学、サンスク町、国立ブラパ大学が協働で実施中です。また、ブラパ大学とは学術交流協定を結び教員や学生の交流が行われています。本年、1月 Watcharin Gasaluck 学長はじめ11名の教職員が佐久大学、JA長野厚生連 佐久医療センター等を訪問し、相互理解に努めました。



【社会連携部門】

佐久市民の日協賛イベントに 出展(2023年3月)

毎年3月9日を佐久市では「佐久市民の日」として、市内の飲食店などで協賛イベントを行っています。佐久大学でもイオンモール佐久平で佐久市民の日協賛イベントを行っています。今回は、例年の足育に加えて、看護学部、人間福祉学部、短期大学部の介護福祉専攻、子ども福祉専攻で日ごろの取り組みに合わせた出展をしました。「認知症なんでも相談」も初めて実施しました。



佐久バルーンフェスティバル に出展(2023年5月)

ゴールデンウィークの5月3日、4日。4年ぶりに観客やキッチンカーも参加するフルスペックでの開催となった佐久バルーンフェスティバルに佐久大学はフットダーツを出展しました。2日間で約1,000人の方に楽しんで頂きました。



キャンパスでほっちのロッジ 巡回展(2022年12月)

軽井沢に居を構える、ほっちのロッジ様のご協力で、12月にカメラマンとしてご活躍の清水朝子さんが、在宅ケアの現場のリアルな空気感や雰囲気をおさめた写真を展示しました。本学としては初めての試みで、キャンパス内の自然の中にパネルを展示して鑑賞できる“屋外美術館”で授業の合間の癒しの空間になりました。



2022年度佐久大学・佐久大学信州短期大学部 国家試験合格状況

2023年3月24日、第112回看護師国家試験、第109回保健師国家試験、第106回助産師国家試験、および第35回介護福祉士国家試験の合格者が発表されました。

本学の合格率は、いずれも全国平均を上回る合格率でした。みなさん、おめでとうございます!

《看護学部看護学科》

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第112回 看護師	77	76	98.7%	95.5%
第109回 保健師	19	19	100%	96.8%

《助産学専攻科》

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第106回 助産師	7	7	100%	95.9%

《短期大学部福祉学科》

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第35回介護福祉士	19	17	89.5%	84.3%

2022年

- 11/1 ● 介護実習Ⅱ開始
信州短期大学部介護福祉専攻1年次生
- 11/5 ● 第3回公開講座
- 11/9 ● EBN実習Ⅱ②前半開始
看護学部2年次生
- 11/10 ● 高校・短大との教育懇談会
- 11/12 ● 看護学研究発表会
看護学部4年次生
- 11/16 ● EBN実習Ⅱ②後半開始
看護学部2年次生
- 11/21 ● 助産学実習Ⅳ開始
- 12/3 ● 事例研究発表会
信州短期大学部介護福祉専攻2年次生



- 12/5 ● 授業公開・参観開始
信州短期大学部(保護者・高校生・実習施設職員)
- 12/23 ● 学友会クリスマス会・学友会長選挙
- 12/26 ● 学友会クリスマス会・学友会長選挙
- 2023年
- 1/16・17 ● タイ プラバ大学来学



- 1/11 ● 助産学研究発表会
- 1/29 ● 介護福祉士国家試験

2/1

- 佐久市子ども未来館との連携協定締結式



2/中旬~3/31

- ソーシャルワーク実習

2/6

- 保育所実習Ⅰ開始
信州短期大学部子ども福祉専攻1年次生

2/9

- 助産師国家試験

2/10

- 保健師国家試験

2/12

- 看護師国家試験

3/5

- NP資格認定試験

3/7

- 修士論文発表会

3/17

- 令和4年度卒業式・修了式

3/18

- オープンキャンパス



3/23~3/28

- 公務員試験対策講座

4/6

- 令和5年度入学式



4/19~4/27

- JICA草の根タイ リハビリテーション研修

2022年度 進路一覧

(順不同)

看護学部看護学科

【就職】■長野県▶北信総合病院／長野松代総合病院／南長野医療センター／鹿教湯三才山リハビリテーションセンター／浅間南麓こもろ医療センター／佐久総合病院／北アルプス医療センターあづみ病院／富士見高原医療福祉センター／下伊那厚生病院／信州上田医療センター／小諸高原病院／まつもと医療センター／長野県立こども病院／長野赤十字病院／川西赤十字病院／坂城町／くろさわ病院／相澤病院／諏訪中央病院／飯田病院／飯田市立病院 ■東京都▶東京共済病院／虎の門病院／東京都済生会中央病院／日本医科大学付属病院／武蔵野赤十字病院 ■神奈川県▶湘南藤沢徳洲会病院 ■埼玉県▶彩の国東大宮メディカルセンター ■群馬県▶桐生市 ■新潟県▶新潟県病院局／さいがた医療センター ■富山県▶富山赤十字病院／富山県立中央病院 ■岐阜県▶岐阜県立多治見病院 ■愛知県▶藤田医科大学ばんだね病院

【進学】佐久大学助産学専攻科／北海道教育大学看護教諭特別別科

助産学専攻科

【就職】■長野県▶北信総合病院／佐久総合病院佐久医療センター／相澤病院／吉田病院／飯田市立病院 ■東京都▶日本大学医学部附属板橋病院

信州短期大学部福祉学科介護福祉専攻

【就職】■長野県▶株式会社ニチイ学館 ニチイケアセンター中塩田／社会福祉法人大樹会 高齢者福祉施設ベルポートまるこ／社会福祉法人小諸学舎／長野松代総合病院／社会福祉法人睦会 総合福祉施設須坂やすらぎの園／社会福祉法人佐久学舎／北相木村老人福祉複合センターみどり／社会福祉法人里仁会 特別養護老人ホームさくら苑／社会福祉法人ハートフルケアたてしな／社会福祉法人敬老園／社会福祉法人みゆき福祉会／社会福祉法人ジェイエー長野会 特別養護老人ホームのべやま／社会福祉法人恩賜財団済生会支部長野県済生会シルバーランドさきの／社会福祉法人ジェイエー長野会 多機能型事業所はあーと工房ポッポ／社会福祉法人愛泉会 軽井沢保育園／株式会社くるまや／岡谷酸素株式会社 松本営業所

【進学】佐久大学人間福祉学部／佐久大学信州短期大学部福祉学科子ども福祉専攻

信州短期大学部福祉学科子ども福祉専攻

【就職】■長野県▶社会福祉法人森と木／社会福祉法人上田明照会連の音こども園／特定非営利活動法人ワークスコープ上田事業所／社会福祉法人育護会 浅間学園／社会福祉法人湧泉会 小雀保育園／社会福祉法人のぞみ福祉会／杉の子保育園／おおきくなあれ保育園／社会福祉法人長野市社会事業協会／オネストリ株式会社 ■埼玉県▶株式会社ニコピース スキップ川口保育園

【進学】佐久大学人間福祉学部



事前予約制

OPEN CAMPUS 佐久大学

看護学部 人間福祉学部 短期大学部

オープンキャンパス 2023

7/22[土] 10:00～15:00
8/19[土] 10:00～15:00
9/23[土] 10:30～14:00

● ランチ体験(事前予約制) ● キャンパスツアー ● 模擬授業
● 個別相談 ● 実習先バスツアー(7/22・8/19)
● 卒業生の体験談(7/22・8/19)など ※予定は変更となる場合がございます

無料シャトルバスあります【長野/上田発・伊那/松本発・佐久平発】
※保護者の方も同乗できます。※バスを利用される方は8日前までにお申し込みください。

詳細・参加申し込みはWEBから▶

佐久大学 オープンキャンパス

2023年度 佐久大学 役職者



◆ 理事長	盛岡 正博
◆ 学 長	堀内 ふき
◆ 副 学 長(兼 基盤教育センター長)	佐藤 嘉夫
◆ 図書館長	小山 秀夫
◆ 学務部長(兼 学生総合支援センター長)	吉田 文子
◆ 看護学部 学部長	八尋 道子
学科長	鈴木 千衣
◆ 大学院看護学研究科 研究科長	小林 恵子
◆ 助産学専攻科 専攻科長	湯本 敦子
◆ 人間福祉学部 学部長	野口 定久
学科長	下村 幸仁
◆ 短期大学部福祉学科 学科長	斎藤 和幸
◆ 社会連携・研究支援センター長	島田 千穂
◆ 事務局長	羽毛田幸博

寄附金のお願い

本学園では、高等教育機関としての社会的使命を実現するために、ご寄附をお受けしております。ご支援を賜った方々のご厚志に感謝し、学内には寄付者銘板を掲げご芳名をしるし、顕彰させていただいております。今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

募集金額 個人：一口 3,000円より
法人：特に定めない
※税法上の優遇措置が適用されます。

※詳細につきましては、ホームページまたは担当(総務課)までお問合せください。

<https://www.saku.ac.jp/about/donation/>
TEL.0267(68)6680 E-Mail.soumu@saku.ac.jp

佐久大学古本募金

読み終えた本が

学生のための新しい本に生まれ変わります

「佐久大学古本募金」は、皆さまからご提供いただいた本・CD・DVDの買取金額が寄付となり、佐久大学図書館の資料購入費として学生の学修支援活動に役立てられるプロジェクトです。

古本募金の流れ



申し込み方法

専用フォームからお申し込みください。宅配業者が玄関先まで集荷に伺います。

佐久大学古本募金の詳細はこちら
<https://www.charibon.jp/partner/saku/>



編集後記

最近、AIがよく話題になっています。AI時代、人と機械がどう共存して生きるか、また、AIにはできない人のケアの本質はどこにあるのかを考えることは重要な問いではないでしょうか。AIによる恩恵もたくさんある反面、人間だけができる優しさのケアもあるかと思えます。人のケアに携わる介護や看護、福祉、保育を学ぶ私たちは、AIとの共存を考え、学ぶと同時に人の温もりや優しさも今まで以上に大切にする必要性を改めて思う時代になりました。

最後に、今号も無事に発行することができました。貴重な時間を使って協力してくださった卒業生や修了生のみなさま、教職員のみなさまに心より感謝申し上げます。

佐久大学公式SNS

Instagram



Facebook



LINE

